

エボラ出血熱の患者数・死亡者数

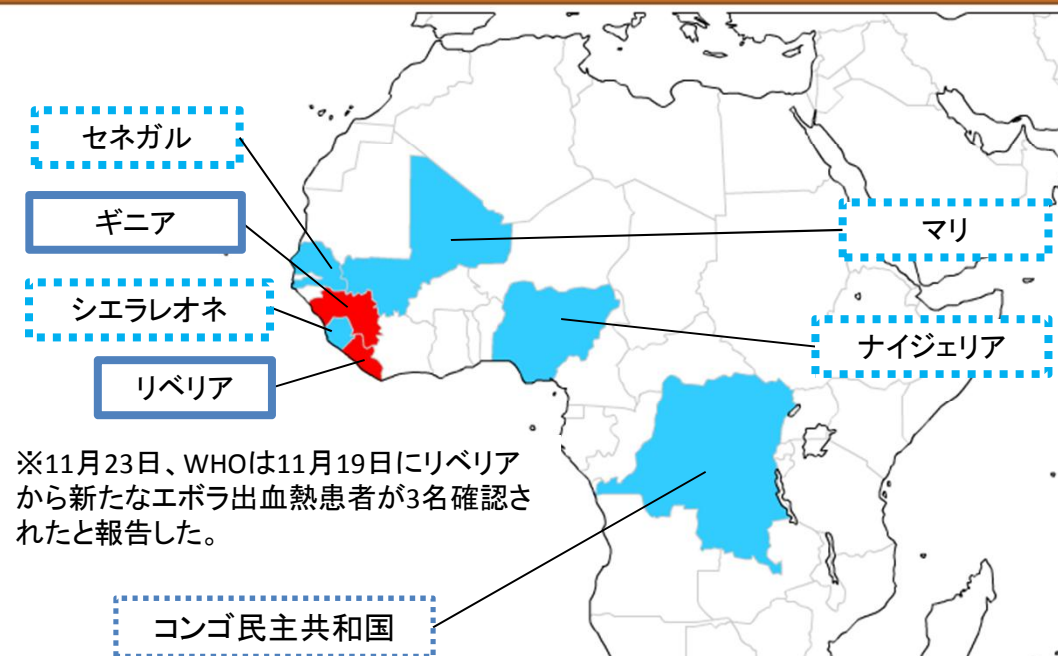
資料3

エボラ出血熱の発生状況

(12月6日までの報告数(疑い例等含む)。
WHO報告(12月9日)、12月10日にアクセス。)

広範囲かつ深刻な伝播が起きている国	患者数	死亡者数
ギニア	3,804	2,536
リベリア	10,675	4,809
終息が宣言された国／限定的な感染が確認された国	患者数	死亡者数
シエラレオネ	14,122	3,955
マリ	8	6
ナイジェリア	20	8
セネガル	1	0
スペイン	1	0
アメリカ	4	1
イギリス	1	0
イタリア	1	0
合計	28,637	11,315

※2014年10月17日にセネガル、10月19日にナイジェリア、11月21日にコンゴ民主共和国、12月2日にスペイン、2015年1月18日にマリ、3月10日にイギリス、7月20日にイタリア、11月7日にシエラレオネが感染終息。



※11月23日、WHOは11月19日にリベリアから新たなエボラ出血熱患者が3名確認されたと報告した。

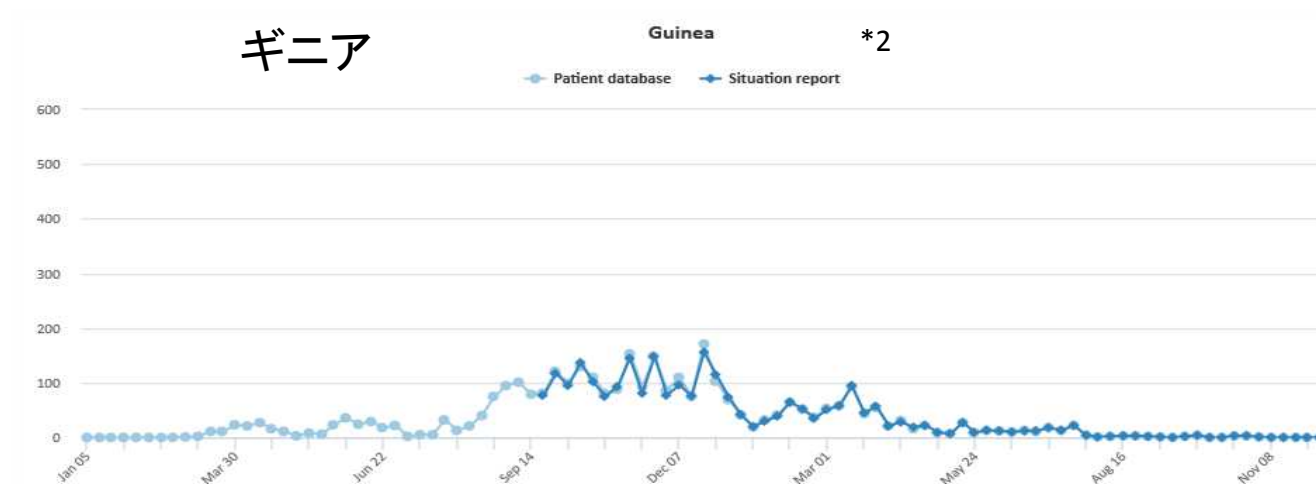
※西アフリカの流行とは別のものである(流行株が異なる)。

赤: 感染まん延国
黄: 輸入症例/限定的感染国
青: 感染終息国



西アフリカ3か国のエボラ出血熱患者の動向

出典: WHOホームページ<http://apps.who.int/ebola/>(2015年12月10日アクセス)*1



	ギニア	リベリア	シエラレオネ
これまでの患者数	3,804名	10,675名	14,122名
これまでの死亡者数	2,536名	4,809名	3,955名
新規発生患者数 (4週前－3週前－2週前)	0名 (0－0－0)	3名 (3－0－0)	0名 (0－0－0)

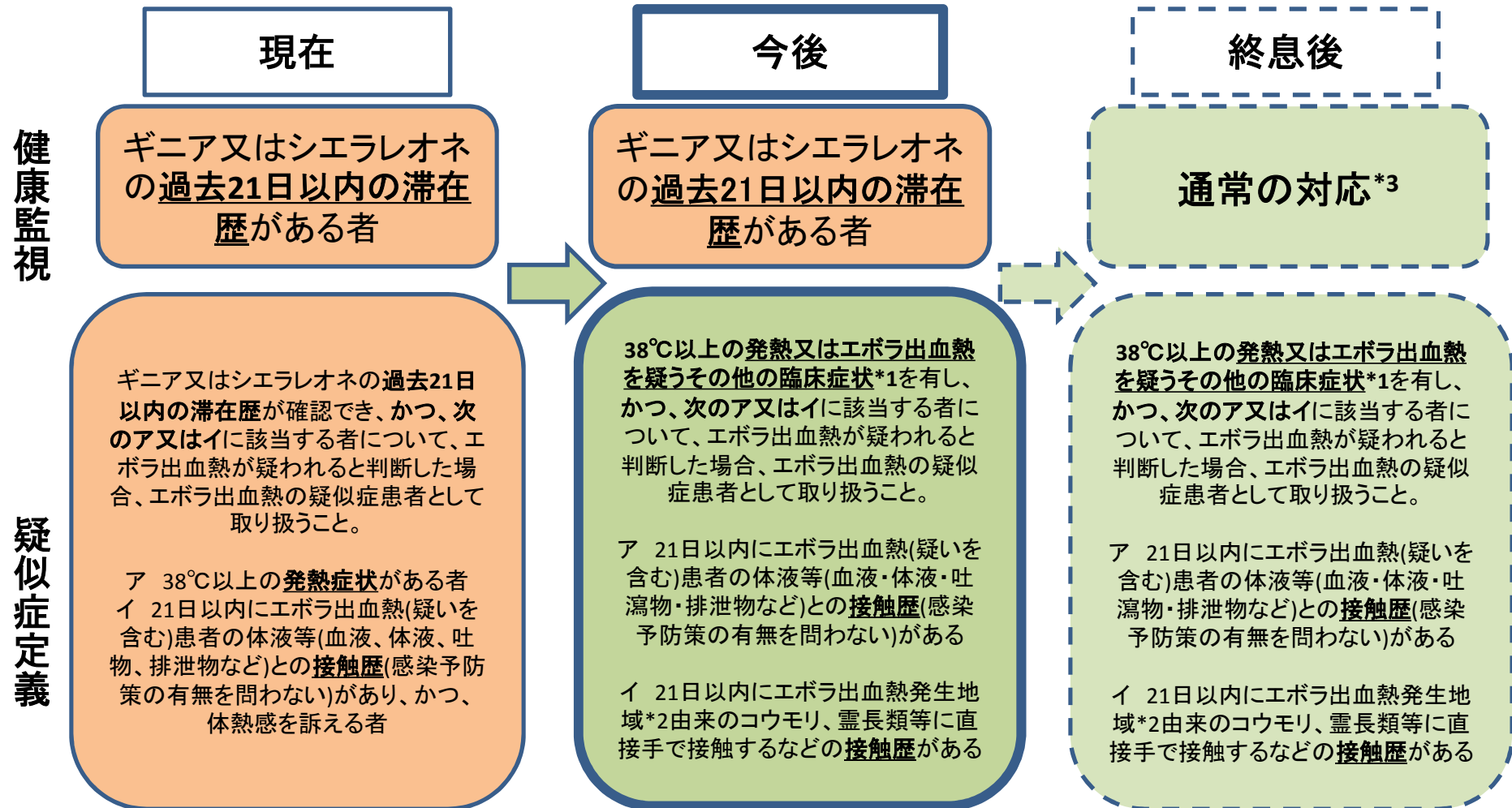
*1 通例週に一度、WHOによる ebola situation reportの更新があるが、今週(11/25)は更新されておらず、11/18の公式情報を元になっている。

*2 Patient database :精査が終了したデータ。

Situation report :精査が終了していないデータ。今後の精査によって数値が変動する可能性がある。

エボラ出血熱疑似症の定義変更と今後の対応について

ギニア・シエラレオネにおけるエボラ出血熱患者の発生及び対応状況等を踏まえ、エボラ出血熱の疑似症患者の定義を従来の対応(接触歴を必須)に変更してはどうか。また、検疫所におけるギニア・シエラレオネからの帰国・入国者の21日間の健康監視については、終息宣言が出されるまで、現在の対応(入国者全員を健康監視)を継続してはどうか。



*1 嘔吐、下痢、食欲不振、全身倦怠感等

*2 ギニア、シエラレオネ、リベリア、ウガンダ、スーダン、ガボン、コートジボアール、コンゴ民主共和国、コンゴ共和国

*3 求めに応じて健康相談を行い、結果により必要な場合は健康監視の対象とする